

ニノ井遺跡（片山）で見つかったナイフ形石器

旧石器人は池田町にもいた

埋蔵文化財は歴史の生き証人、保護とPRを



野網義一 議員

池田町片山のニノ井遺跡でナイフ形石器（今から一万八千年〜二万年前）が発見され縄文時代より前の旧石器人が生活していたことが明らかとなった。

「池田町で一番古い物は？」と聞くとほとんどの人が古墳と答える。古墳より古い縄文時代や弥生時代の遺跡が多数あるにもかかわらず、その古墳も県史跡の願成寺西墳之越古墳群や県重要文化財の中八幡古墳出土品以外は何の指定もされず、現地での表示もない。遺跡の表示と保護を。

池田町史発行後の発掘の成果も盛り込まれた「わがまちをさぐる」は大変わかりやすい解説書。普及状況は。



町長 「わがまちをさぐる」は平成16年に図書館から500冊発行。贈答や販売で200冊。古墳や遺跡の明示PRと保護に努めるとともに道の駅もオープンするのでルートも考えたい。

福祉避難所の指定 防災機能を備えた道の駅に

阪神大震災でも今回の東日本大震災でも高齢者や障がい者など生活弱者の死亡率が高い。運よく避難できても避難所で関連死や二次災害が心配されている。福祉避難所の指定はしているのか。防災機能を備えた道の駅に整備を。

町長

数年前から自然災害が想定される場合に事前に見守る組織づくりをしてきた。援護を必要とする人は508名。福祉避難所のガイドラインに即して順次指定したい。道の駅も避難所として対応できる。



宮地村営発電所跡（水槽～取入水路）

原発の「安全神話」は崩壊した。原発を廃炉にして自然エネルギーの拡大と省エネを。

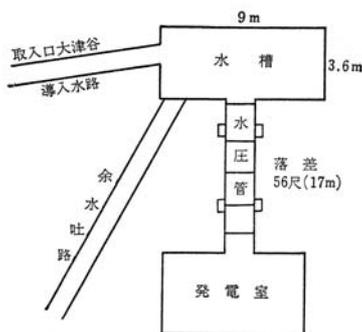
宮地村営の水力発電所が大津谷左岸（キャンプ場の北隣）に大正10年8月に完成し昭和18年まで存続した。（10kw、280戸に送電）現在もそのあとが残っているし、近くには農業用水が勢いよく流れている。ぜひ復活させ、観光資源・学習の場として活用を。

脱原発と自然エネルギーの活用、省エネを

宮地の小水力発電の復活を

町長

来年春には点検ですべての原発が止まる。代替エネルギーを真剣に考えないといけない。大津谷左岸の小水力発電はできれば復活したい。その他に池田公園北の農業用水を利用した発電を利用規制が解除されれば考えたい。節電に努めているが8月は役場で30分繰り上げてサマータイムを実施したい。



宮地村営発電所 見取図